

新田町交差点周辺まちづくり検討スケジュール(予定)

年度	R4年度							R5年度										
	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	現在▶	1	2	3
中活評価専門委員会		● 第27回(R4.11.24) ◇諮問								● 第28回(R5.7.25) ◇検討経過報告						● 第29回(R6.1.17) ◇中間報告		● 第30回 ◇答申内容決定
利活用検討部会		● 第1回(R4.12.23) ◇現状・経緯の確認							● 第2回(R5.7.4) ◇導入機能の検討 ・アンケート結果報告				● 第3回(R5.11.20) ◇機能配置の検討 ・機能配置の素案			● 第4回(R6.2.5予定) ◇答申素案の検討 ・新田町交差点周辺まちづくり方針(案)		● 第5回 ◇答申案の検討
ワーキング			● 第1回(R5.1.30)					● 第3回(R5.6.20)					● 第4回(R5.11.7)					

第1回 現状等の確認

◆もんぜんぷら座の概要

- 【敷地】 敷地面積 3,936.26㎡(公簿)
《内訳》市有地 2,705.40㎡
 私有地 1,230.86㎡(借地)
- 【建物】 昭和51年竣工(築46年)、SRC造
 高層棟 地上9階+塔屋1階、地下1階
 低層棟 地上2階、地下1階
 延床面積 23,941.12㎡

◆上位計画

「長野中央西地区市街地総合再生基本計画」
(令和4年2月作成)

都市の将来像

新田町交差点エリア

“市民活動と情報発信により
中心市街地の結節点となる地域”



重点プロジェクト

- ・南西街区 もんぜんぷら座敷地利活用推進

第2回 導入機能の検討

もんぜんぷら座の
既存機能

新田町交差点周辺に
残した上で機能拡充

市民活動・交流支援

生涯学習支援

子育て支援

新田町交差点周辺
である必要はない

就労支援

生活等支援

障害者支援

外国人支援

観光・情報発信
(事務所機能のみ)

周辺の商業環境等
により判断が必要

商業

新田町交差点周辺に導入が望ましい機能

既存機能の拡充

市民活動・交流支援

- ・若者の居場所など幅広い世代が交流できる場所
- ・地元住民や観光客などが交流できる場所
- ・音楽活動として使えるスタジオ

生涯学習支援

- ・幅広い世代が利用できる生涯学習の場
- ・学生などが利用できる学習コーナー

子育て支援

- ・子育てを通して親同士が交流できる場
- ・未就学児童から小学生まで、幅広い世代が利用できる場所
- ・雨や雪の日でも遊べる広場

新たな機能

文化

- ・幅広い世代が集い交流できる、他にはない特徴的な図書館

観光・情報発信

- ・長野の食や文化が体験できるなど、情報発信の場

商業

- ・飲食や物販など、来街目的となる魅力的なサービスを提供できる場

もんぜんぷら座周辺のまちづくりに関するアンケート【結果】

実施期間 令和5年4月26日～5月10日

送付数 2000通
回答数 667通

Q9 新田町交差点周辺エリアに必要なと思う機能(上位5機能 複数回答)

- | | |
|------------------------|-----|
| 1 飲食や物販など商業サービスの提供 | 55% |
| 2 カフェなど居心地の良い空間を備えた図書館 | 40% |
| 3 雨の日でも子供が遊べる屋内遊戯スペース | 28% |
| 4 長野の食や伝統文化を体験できる機会の提供 | 25% |
| 5 幅広い世代の交流・市民活動のサポート | 23% |

第3回 機能配置の検討

もんぜんぷら座廃止に伴う既存機能の移転

移転先の検討①

(現位置建て替えと周辺街区への移転を比較)

既存機能のサービスを継続しつつ、移転費用の軽減を図り、都市機能の更新など新田町交差点一帯のまちづくりにつなげていくため

周辺街区への機能移転が望ましい

移転先の検討②

北西街区

- ・まとまった敷地が確保できる
- ・機能移転に併せて都市機能の更新が可能

北東街区 (ToiGo)

- ・生涯学習センターは利用者を増やすことが課題*
- ※第三次長野市生涯学習推進計画
⇒生涯学習センターの機能再編を検討

南西街区
(もんぜんぷら座)

- ・施設老朽化によりR12年度末の廃止が予定されており、建物解体後の土地の活用が課題

南東街区

- ・機能移転には敷地の広さが限られる

北東・北西街区への機能移転を検討

機能配置の素案【資料2】